

9 | 刑を終えて出所した人

(1) 現状と課題

刑を終えた人、保護観察*中の人やその家族に対する偏見や差別には根強いものがあります。就職や居住に関する差別をはじめ、社会復帰の機会からの排除など、更生への妨げや人権が損なわれる恐れがあり、地域社会の理解と協力が必要です。

また、再犯防止を図る観点からも、より社会に復帰しやすい環境を整えることが重要です。

(2) 施策の方向

刑を終えた人、保護観察中の人たちが地域社会の一員として明るい生活を営むためには、本人の意欲はもとより、行政機関の働きかけだけではなく、地域社会の理解と協力による支援が重要となります。

偏見や差別を解消し、更生を実効のあるものとするため、関係機関・団体との連携・協力を深め、「社会を明るくする運動」等の啓発活動を推進します。

■ 日頃親しくしている人が、刑を終えて出所した人だとわかったときの対応

- Q 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人々が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。
あなたのお気持ちにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

